

鶴見川出張所だより

京浜河川のHPIは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京浜河川事務所
鶴見・新横浜出張所発行
(代表) 鶴見出張所
電話045-501-3038
2013年12月12日【第09号】

シンポジウム『温暖化豪雨時代の危機と流域の暮らし』を開催します 2014年1月26日(日)13:30~16:00(開場13:00)

近年、鶴見川流域では大きな水害もなく、鶴見川がかつて『暴れ川』だったと認識する人も少なくなってきました。しかし水害の危険がなくなったわけではありません。

また、遠くの地域の出来事とされている地球温暖化やIPCCで報告されている海面上昇は、実は身近な水害として私たちの生活を脅かす存在なのです。

温暖化適応策としての総合治水の新たな展開について、行政、市民それぞれの立場から考えます。

主催：鶴見川流域水協議会
共催：連携鶴見川流域ネットワーク
問合せ：鶴見川流域センター
TEL：045-475-1998

第1部 行政・市民団体からの報告

- ・温暖化豪雨と海面上昇の時代が始まる
・・・岸 由二氏（慶応大学名誉教授）
- ・IPCC紹介
・・・林 稔氏（横浜市温暖化対策統括本部調整課企画担当課長）
- ・鶴見川流域における総合治水の現状
・・・船橋 昇治氏（国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所長）
- ・市民団体の実践
・・・ドラゴンウォッチの会

第2部 シンポジウム『市民はこの時代にどう対応してゆくか』

- パネリスト
第1部参加者、水マス推進サポーター
- コーディネーター
岸 由二氏（慶応大学名誉教授）

会場：鶴見川流域センター 1F コミュニティルーム(定員80名) 参加費 無料

鶴見川堤防上の道路や河川内の棧橋などの履行検査を行いました



京浜河川事務所では、履行検査を占用件数が多いため2シーズンに分けて行っています。

5月に橋梁や水門など主に構造物関係の許可工作物の検査を行っています。

11月に横浜市道、川崎市道や河川敷きの公園などといった、出水の影響の小さい平面占用の検査を行っています。

鶴見・新横浜両出張所管内でも11月13日(水)から11月29日(金)までの期間で検査を行いました。

(左の写真：占用している植樹状況の確認)

許可工作物とは、河川区域内において国土交通省の河川管理者以外が設置及び管理している施設のことです。(例えば：公園・橋・樋管などがあります。)

履行検査とは、毎年出水期(6月1日~10月31日)前に出水期の災害の防止を目的として、許可工作物が適切に維持・管理されているかを国土交通省の職員が確認、指導するために実施するものです。

堤防脇の側溝(用地境界部分に設置)部分の樹木伐採をお願いしています 樹木の根によって側溝が壊れている箇所も出ています

鶴見川の堤防等の点検を行っていますが、その中で堤防脇の樹木により、側溝（民有地と国有地との堺にある物）が壊れたり（壊れそうな物も）、堤防斜面を覆う枝葉により雨が地表面に落ちないため、芝などが生えにくくなって堤防の土が流れ出しているところもあります。

鶴見出張所管内では、堤防の脇の庭などに樹木を植えている家に左下のお願い文書をポストへ投函して協力を呼びかけています。

平成 25 年 12 月 日

鶴見川沿いの皆さんへ


国土交通省 関東地方整備局
京浜河川事務所 鶴見出張所長

鶴見川堤防脇の樹木伐採のお願いについて

日頃から河川行政等にご協力頂き、ありがとうございます。
さて、最近鶴見川の堤防等の点検の中で堤防脇の樹木により、側溝（民有地と国有地との堺にある物）が壊れたり（壊れそうな物も）、堤防斜面を覆う枝葉により雨が地表面に落ちないため、芝などが生えなくなるとして堤防の土が流れ出しているところもあります。
つきましては、堤防の脇に樹木を植えている方に下記のお願いをいたします。
よろしく申し上げます。


記

① 堤防脇の側溝付近の樹木は、伐採して下さい。



※協力して頂いたものなど

② 堤防上に民家側から出ている枝葉は、伐採して下さい。



鶴見出張所
連絡先 045-501-3038

堤防付近に樹木を
植えられている方
へのお願い文書

側溝付近の樹木の伐採
をお願いしています。
(側溝が壊れている箇所
もあります)



あ と が き

11月から河川内の工事は、本格的に行われています。京浜河川事務所では、工事状況を河川利用者の皆さんに知って頂くためにホームページの工事情報を更新しました。

出来るだけ毎月施工状況写真を入れ替え、お知らせしていく予定です。

工事情報

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00284.html>

また、鶴見川に架かっている橋梁の『鶴見橋(国道15号線)』で塗装工事が行われています。この工事の中で橋桁に橋の名称を大きく書くとのこと。

1月末頃には、お披露目出来ると思います。

『鶴見川出張所だより』編集長(上林喜美夫)

鶴見川流域センターは鶴見川の情報発信しています

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設として運営しています。

12月は、来年1月26日に開催するシンポジウムに合わせ、地球温暖化をテーマに展示を行っています。温暖化の中で地球はどうかかわるのか各種資料を展示しています。

詳しい予定等は、流域センターにお問い合わせ頂き、ぜひ、ご来館下さい。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)